

学校だより

令和6年 2月21日(金)

夜須中学校 2月号

文責 濱田 美貴



日	曜	行事
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	公立高校入試 A 日程検査(学力)
5	水	公立高校入試 A 日程検査(面接)
6	木	
7	金	8:50～ 受付 9:30 開式
8	土	卒業式
9	日	本年度・来年度の本部役員の皆様 18:30～
10	月	PTA 本部役員会
11	火	修学旅行説明会
12	水	小学校へ出張読み聞かせ(英語部) 専門委員会
13	木	公立高校入試 A 日程の合格発表 卒業式振休 月曜ではなく、この日が休みです。
14	金	公立高校入試 B 日程の出願期間
15	土	市民参加劇公演『海の木馬』
16	日	市民参加劇公演『海の木馬』
17	月	
18	火	公立高校入試 B 日程の検査日
19	水	PTA 交通指導
20	木	春分の日
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	修了式・離任式 公立高校入試 B 日程の合格発表
25	火	高知県選抜野球大会(～30日)
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	あったか竜馬陸上記録
30	日	あったか竜馬陸上記録
31	月	

「白い風寒さあふれる世界かな (笹 心美)」

この俳句は、岡本彌太文学賞で「優良賞」を受賞した3年生の作品です。朝夕に交わす挨拶の際に出る息の白さから寒さが伝わってくるとともに、体温や心のぬくもりも感じられます。

3年生は卒業が迫ってきました。1・2年生もこの1年の集大成の時期です。「よく頑張った」「この仲間と一緒によかった」等々を実感し、達成感や感動があふれる学年末になってほしいと思います。そのためにも、うがい、手洗い、睡眠などに留意し、心身ともに元気に過ごせるようにしましょう。

地域の方に学ぶ

キャリア教育 ～仕事の達人～

進路や職業に関する学習の導入として、1・2年生が、夜須在住の3名の講師の方のお話を聞きました。仕事に関するだけでなく、ご自身の学生時代の体験や当時考えていたこと、地域に対する思いなどもお話しください、大変有意義な学習になりました。講師の皆様、また、講師を紹介して下さった、地域コーディネーターの永野富美子先生、ありがとうございました。



丸岡克典さん
車両販売、整備等



野島貴美子さん
農業



小松希芳さん
衣装デザイナー

<講話内容>

- ・この仕事の良いところ・意義・楽しさや苦勞、しんどさ
- ・この仕事を始めた理由やエピソード、この仕事に就くために取り組んできたこと
- ・中学生の頃に身に付けておいた方がよいと思うこと など

生徒感想より

・車は時代の流れで変化してきて、電気自動車やハイブリットなど、環境によい車ができていくことがわかった。車の仕事は、手先の器用さが必要で、簡単ではないことがわかった。また、車の知識や技術だけでなく、お客さんがどのような気持ちで接しているかなどを考え、相手を満足させることが大切だということがわかった。夜須町を変えるために青年団に入ったそう。町づくりが好きで、人のつながりが増えたと知って、やってみたいと思った。

・「自分が何をしたいか?」「どういう目標を持っているのか?」を大切に、今から人間関係を学び、人との出会いを大切にしないといけないことが分かりました。私のおじいちゃんも農家をしているので、今日野島さんに話していただいたことを話してみたいと思います。今、自分たちは勉強をしているけれど、大人になっても勉強をしないといけないので、そのためには今のうちに勉強をして経験を積みたいと思いました。農家は天候が敵で、経営をどう回していくかが大切だとわかりました。日々努力していくことも頑張りたいです。

・ほめてもらえたときにやってよかった、楽しいと感じるそう。10代から経験しておくといことは、いろんな人といろんな場所で話をしたりすること。嫌な人の意見でも1回は聞いてみる。それが将来役に立つかもしれない。人の話を聞く力をつけることや、SNSの内容について、本当のことと嘘を見極める能力を付けることが大切だとわかった。自分が好きな仕事に就くのではなく、これなら続けられるという仕事に就けばいいと分かった。

小学校とつながる

1 日体験入学・交流会

今年の体験入学は、校内見学と説明会だけでなく、体験授業や部活動見学を組み込みました。また、小6生の学級会による意向と企画をうけ、中1生との交流会も行いました。その様子を、保幼小中連携モデル実践研究事業の統括推進リーダーである小松久代先生が通信にまとめ、市内の保幼小中に紹介してくださいましたので、抜粋してお知らせします。

夜須中学校

1 日体験入学の様子です！

香南市では、最後の中学校の体験入学が行われました。

今年度の新しい試みとして、中1と仲良くなりたいという提案で、小学6年生が企画・運営を行った交流会がスケジュールの中に、組み込まれていました。昨年度まで、一緒に小学校で過ごしていたこともあり、名前や顔も知っている仲ではありますが、中学生になった先輩たちの姿を見て、憧れや期待をもった子もいたのではないのでしょうか。

そして、さらに、この体験入学の司会や進行を行っていたのが、中学校の英語教師である上杉先生だということも子どもたちにとっては心強かったのではないのでしょうか。上杉先生は、毎週1回、小学校の外国語の授業に入ってくださっているため、すでに子どもたちの名前や性格などが分かっています。中学校の場に、知った先生がいるというだけで、安心感に繋がりますし、困ったことや不安なことがあった時にすぐに聴ける存在がいるということは不安の軽減や解消に役立ちます。

そして、小6の担任、青木先生が、当日、学校紹介してくれた生徒会執行部の子どもたちを以前、小学校で担任していたこともあり、進学後の成長した姿を見せることができたことは、中学生にとっても嬉しかったことと思います。早速、青木先生は、生徒会の子どもたちに声をかけ、みんなが笑顔で話していたのが印象的でした。

- 開会・日程確認
- 校内見学
(授業通覧含む)
- ミニ授業体験
 - ・理科
 - ・数学
- 休憩・移動・準備
- 中1と小6との交流会
- 休憩・移動
- 生徒会による学校紹介
- 部活動見学・体験



司会・進行役の上杉先生



細川校長先生から、めざす生徒像について、校内のどこかに書かれてあるので、校内見学の際に見つけてくださいとお題が出されました。



ミニ授業体験



小6が企画した「自己紹介&インタビュー」。名刺を交換したり、気になっている部活動のことを聞いたりしていました。



赤と白チームに分かれ、フリスビードッジを楽しみました。中学生の投げるフリスビーの速さは恐怖で、逃げまわる小学生もいました。迫力満点でした。



学校紹介してくれた生徒会執行部の皆さん



部活動体験